

第39回青森県高等学校総合文化祭日本音楽部門結果報告

平成30年10月28日(日)、青森明の星高等学校「明の星ホール」で行われた第39回青森県高等学校総合文化祭日本音楽部門において、7年連続で最優秀賞を受賞することができました。今年は、牧野由多可作曲「春の詩集」を演奏しました。この曲は、待ち望んでいた春が訪れ、柔らかい日差しに小川がキラキラと輝き、つばみが次々と花開く様子を表現した難易度の高い曲です。生徒達は、全国大会を終えた8月中旬からこの曲の練習を開始し、10月の県大会を迎えました。本番の演奏では、変容していく主題や曲のテンポに気をつけながら見事なアンサンブルを披露したと思います。また、全国大会の舞台での経験が生きた結果だとも思っています。

来年7月に佐賀県武雄市で開催される全国大会に出場することが決まりました。これからも、青森県代表としての自覚を持ち、より精度の高い練習に努めていきたいと思えます。

当日、会場に足を運んでくださった皆様はもとより、陰ながら応援をしてくださる皆様にも心よりお礼を申し上げます。

浪岡高校日本音楽部一同

7年連続「最優秀賞」受賞の
日本音楽部員